エコアクション２１

環境活動レポート

2021年10月～2022年9月

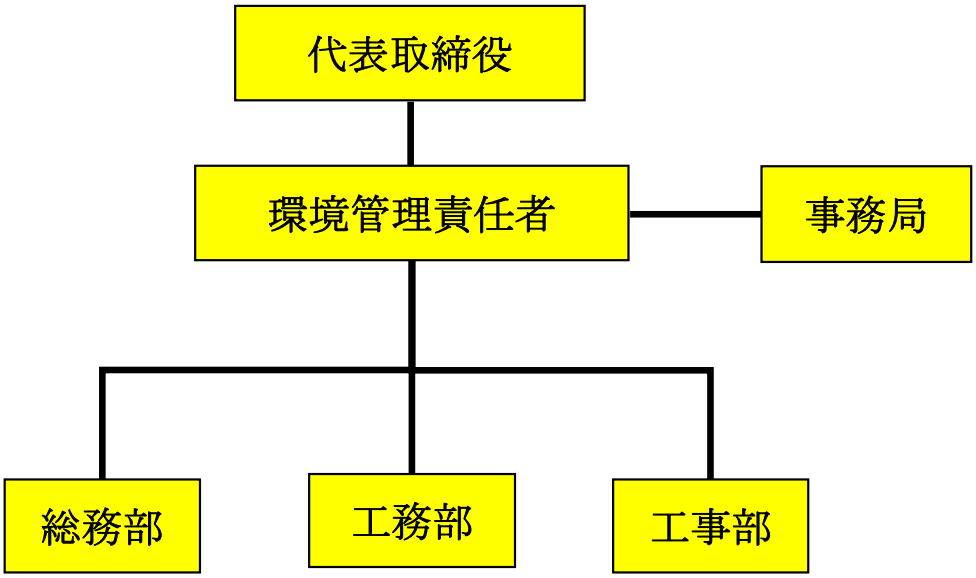
作成　　2022年12月26日
改定　　2023年４月19日

有限会社　原　組

1. 会社概要

事業者名	有限会社　　原組
代表者名	代表取締役　原　芳弘
適用範囲	本社　〒779-3620 徳島県美馬市脇町岩倉2379番地 TEL　0883-52-1692 FAX　0883-52-2385 倉庫 ・徳島県美馬市脇町字平帽子762-6 ・徳島県美馬市脇町別所字姥ヶ原2836-5 対象者　全従業員
環境管理責任者	武田　勝俊
事務局担当	武田　勝俊
事業内容	土木工事・建築工事・とび・土工・鋼構造物・舗装・水道施設
売上高	182.6百万円（2021年度）
従業員数	11人

2. 組織体系



役割内容(一部抜粋)

○代表取締役社長
・環境方針を策定する。
・法の遵守評価を承認する。
・社長による全体評価と見直しから改善の指示を行う。
・環境活動レポートを承認する。

○環境管理責任者
・環境方針を全従業員に周知する。
・環境目標・環境活動計画を承認し、全従業員に周知する。
・活動の取組状況と成果・実績を社長に報告する。
・社長による全体の評価と見直しの結果を全従業員に周知する。

○環境事務局
・環境への負荷及び取組自己チェックリスト作成し、実行計画等に反映する。
・環境目標・環境活動計画を策定し、毎月の進捗管理を行う。
・教育訓練計画の策定。従業員への講師及び進捗管理を行う。
・環境活動レポートを毎年10月に策定し、管理責任者に報告する。

○部門長
・環境目標・環境計画を実行し、達成に向け活動する。
・適用する法的及びその他の要求事項に沿った作業を従業員に周知する。
・安全は全ての作業に優先する事を従業員に周知し、安全作業に努める。

○従業員
・会社の方針、部門の目標・計画に従って実行する。
・全員参加での活動を認識し、活動する。

3. 環境方針

『環境経営理念』

当社は、建設業において地球温暖化防止対策として少しでも地球に与える二酸化炭素を抑制し、また、地球環境保全活動が最重要課題であることを全従業員が認識し、社会貢献に努める。

『環境方針』

当社の土木工事業活動から排出する二酸化炭素は、約半分以上が大気に蓄積されており、現在も地球環境を痛め続けております。その結果、地球温暖化という課題を背負うことになりました。このことを踏まえ、全従業員が環境保全活動を行い微力ながら地球温暖化防止等に貢献していきます。
この方針は、後継者に伝承していきます

以下に活動項目を示し、自主的・積極的に取組みます。

1. 当社に見合った環境マネジメントシステム構築及び実施運用を行い、継続的な改善による環境負荷の低減に努めます。
2. 適用する法規制類及びその他の要求事項を遵守します。
3. 具体的な取組み項目を示します。
   1）CO2排出量の削減
   2）廃棄物発生抑制
   3）水使用量の削減
   4）グリーン購入の促進
   5）5S含めた教育・訓練
   6）環境に配慮した工事の方法の推進
   7）周辺地域のアドプト事業の参加
4. 環境目標及び環境活動計画などに展開し、見直し、評価の基準となるものとします。
5. 環境方針を環境目標、環境活動計画等と共に、全従業員に周知します。又、環境活動レポートを公表し、利害関係者が入手できるようにします。

2010年　9月15日　制定
2011年10月22日　改訂
2019年　4月　1日　改訂
2021年　1月18日　改訂
有限会社原組
代表取締役　原　芳弘

4. 環境活動目標の計画・実績

環境活動目標の計画(電気・燃料)

項目	管理名	単位	2009年実績	2019年度		2020年度		2021年度	
				年間計画	削減率(実績比)	年間計画	削減率(実績比)	年間計画	削減率(実績比)
売上高		百万円	100.0	105.0	↑5.0%	105.5	↑5.5%	106.0	↑6.0%
電力	使用量	kWh	8,067	7,764	△5.0%	7,623	△5.5%	7,583	△6.0%
	CO2排出量	kg	4,316	4,100	△5.0%	4,079	△5.5%	4,057	△6.0%
灯油	使用量	ℓ	2,219	2,108	△5.0%	2,097	△5.5%	2,086	△6.0%
	CO2排出量	kg	5,525	5,249	△5.0%	5,221	△5.5%	5,194	△6.0%
軽油	使用量	ℓ	22,276	21,162	△5.0%	21,051	△5.5%	20,939	△6.0%
	CO2排出量	kg	57,472	54,599	△5.0%	54,311	△5.5%	54,024	△6.0%
ガソリン	使用量	ℓ	7,566	7,187	△5.0%	7,149	△5.5%	7,112	△6.0%
	CO2排出量	kg	17,552	16,674	△5.0%	16,587	△5.5%	16,499	△6.0%
CO2総排出量		kg	84,865	80,622	△5.0%	80,197	△5.5%	79,773	△6.0%
原単位			848.7	767.8	△10.0%	760.2	△11.0%	752.6	△12.0%

環境活動目標の実績（電気・燃料）

項目	管理名	単位	2021年度計画	2021年度実績	年度達成率
売上高		百万円	106.0	182.6	172.3%
電力	使用量	kWh	7,583.0	7,285.0	104.1%
	CO2排出量	kg	4,056.9	3,897.5	
灯油	使用量	ℓ	2,085.9	1,647.1	126.6%
	CO2排出量	kg	5,193.8	4,101.3	
軽油	使用量	ℓ	20,939.4	15,232.1	137.5%
	CO2排出量	kg	54,023.8	39,298.7	
ガソリン	使用量	ℓ	7,111.6	6,212.1	137.4%
	CO2排出量	kg	16,498.9	14,412.1	
CO2総排出量		kg	79,773.4	61,709.6	114.5%
原単位			752.6	337.9	222.7%

＊電力のCO2換算係数は、2017年度の四国電力の調整排出係数0.535を使用している

環境活動目標の計画と実績
（水・廃棄物・グリーン購入・環境配慮工法）

項目	管理名	単位	2009年度実績	2019年度目標	2020年度目標	2021年度目標
水	使用量	m3	242.0	229.9	228.7	227.5
廃棄物	数量	t	1106	1106	1106	1106
グリーン購入	品目数	個	5.0	19.0	20.0	21.0
環境配慮工法	工法数	個	2.0	12.0	13.0	14.0

項目	管理名	単位	2021年度目標	2021年度実績	2021年度達成率
水	使用量	m3	227.5	163.0	139.6%
廃棄物	数量	t	1106	274	403.6%
グリーン購入	品目数	個	21.0	20.0	95.2%
環境配慮工法	工法数	個	14.0	14.0	100.0%

5.環境活動計画の具体的取組活動（2021年度）

項目	具体的取組内容
電力	・電気、エアコン、パソコンの点けっ放しの削減 ・待機電力の削減 ・空調使用時のドアの開けっ放し禁止　など
燃料	・アイドリングストップ ・急発進しない ・法定速度の厳守　など
廃棄物	・ゴミの徹底分別 ・ものの長寿命化 ・リサイクル用品の使用　など
水	・手洗い時、洗い物時の節水 ・洗車時の節水
グリーン購入	・グリーン購入法に基づいた材料、事務用品の優先使用
5Sを含めた教育訓練	・月1回の安全会議での5Sの繰り返し教育 ・EA21PDCAｻｲｸﾙ実践活動に必要な教育訓練　など
環境配慮工法	・排ガス規制建設機械の使用 ・工事看板の県産木材の使用 ・エコドライブの励行
ボランティア	・大谷川の草刈り、清掃 ・現場周辺のゴミ拾い ・四国88カ所遍路道の清掃

6.環境活動の取組結果・評価・次年度の取組内容

項目	良かった点	改善すべき点	次年度への取組内容
電力	節電意識が継続出来ていた	特になし	省エネ家電の購入促進をしていく
燃料	達成手段は出来ていたと思われる。	特になし	継続して燃料削減に取り組む
廃棄物	適正に分別されていた	特になし	廃棄物の発生抑制の持続 適正に分別に取り組む
水	節水意識の向上がみられた	特になし	次年度も節水を心がける
グリーン購入	アスクル推奨品の購入が行われていた	特になし	基本的にグリーン商品の購入を推奨していく
5Sを含めた教育訓練	5Sにより作業効率があがり利益に反映した	継続して行う	さらなる向上を目指す
環境配慮工法	環境に配慮した工法ができた	継続して行う	次年度も1つ増やして取り組んでいく
ボランティア	ボランティアに積極的に取り組むようになった	取組を維持する	ボランティアにより現場周辺の美化につなげる

7. 次期3カ年計画の環境活動目標

環境活動目標の計画(電気・燃料)

項目	管理名	単位	2009年実績	2022年度		2023年度		2024年度	
				年間計画	削減率(実績比)	年間計画	削減率(実績比)	年間計画	削減率(実績比)
売上高		百万円	100.0	106.5	↑6.5%	107.0	↑7.0%	107.5	↑7.5%
電力	使用量	kWh	8,067	7,543	△6.5%	7,502	△7.0%	7,462	△7.5%
	CO2排出量	kg	4,316	4,035	△6.5%	4,014	△7.0%	3,992	△7.5%
灯油	使用量	ℓ	2,219	2,075	△6.5%	2,064	△7.0%	2,053	△7.5%
	CO2排出量	kg	5,525	5,166	△6.5%	5,139	△7.0%	5,111	△7.5%
軽油	使用量	ℓ	22,276	20,828	△6.5%	20,717	△7.0%	20,605	△7.5%
	CO2排出量	kg	57,472	53,736	△6.5%	53,449	△7.0%	53,162	△7.5%
ガソリン	使用量	ℓ	7,566	7,074	△6.5%	7,036	△7.0%	6,998	△7.5%
	CO2排出量	kg	17,552	16,411	△6.5%	16,323	△7.0%	16,236	△7.5%
CO2総排出量		kg	84,865	79,349	△6.5%	78,925	△7.0%	78,500	△7.5%
原単位			848.7	745.1	△13.0%	737.6	△14.0%	730.2	△15.0%

環境活動目標の計画と実績
（水・廃棄物・グリーン購入・環境配慮工法）

項目	管理名	単位	2009年度 実績	2022年度 目標	2023年度 目標	2024年度 目標
水	使用量	m3	242.0	226.5	225.1	223.9
廃棄物	数量	t	1106	1106	1106	1106
グリーン 購入	品目数	個	5.0	22.0	23.0	24.0
環境配慮 工法	工法数	個	2.0	4.0	4.0	4.0

8.環境活動計画の具体的取組活動（2022年度）

項目	具体的取組内容
電力	・電気、エアコン、パソコンの点けっ放しの削減 ・待機電力の削減 ・冬期のエアコンの使用不可　など
燃料	・アイドリングストップ ・急発進しない ・過積載債禁止　など
廃棄物	・ゴミの徹底分別 ・ものの長寿命化 ・リサイクル用品の使用　など
水	・手洗い時、洗い物時の節水 ・洗車時の節水
グリーン購入	・グリーン購入法に基づいた材料、事務用品の優先使用
5Sを含めた教育訓練	・月1回の安全会議での5Sの繰り返し教育 ・EA21PDCAｻｲｸﾙ実践活動に必要な教育訓練　など
環境配慮工法	・余分な資材を調達しない ・設計の出来形管理値50%目標 ・施工品質の向上
ボランティア	・大谷川の草刈り、清掃 ・現場周辺のゴミ拾い ・四国88カ所遍路道の清掃

9. 環境関連法規の遵守状況の確認・評価の結果・違反、訴訟の有無

当社の事業活動に伴う環境関連法規は下記の通りである。
運用開始から法違反はゼロ。EA21EMSにおける法遵守については管理責任者が中心となり2021年の10月～2022年9月の1年間についても法違反なし。
更に、監督官庁、周辺住民からの苦情・訴訟等はありません

No	主な環境関連法規	管理責任者による遵守評価	○×
1	廃棄物処理法	マニフェスト管理票2022年10月31日 サンプリング30件確認 2022年7月4日年間実績報告確認 など廃掃法確認	○
2	大気汚染に関する法令	アイドリングストップの励行 ヒアリング確認及び実践の周知	○
3	騒音規制法	今回該当なし	○
4	振動規制法	今回該当なし	○
5	土壌汚染対策法	今回該当なし	○
6	消防法	溶接機使用時、消火バケツ設置の義務付けの再周知の徹底	○
7	改正リサイクル法	1年間における発生なし	○
8	家電リサイクル法	1年間における発生なし	○
9	自動車リサイクル法	1年間における発生なし	○
10	グリーン購入法	グリーン購入計画の推進	○
11	省エネ法	CO2排出量の削減活動計画書 活動計画をほぼ100％達成	○
12	労働安全衛生法	各種作業に必要な有資格者を配置 2021年10月1日確認	○
13	作業環境測定法	今回該当なし	○
14	フロン排出抑制法	整備記録簿確認 2022年10月30日	○
15	その他法規制一覧表	すべて巡視評価確認 2022年11月21日	○

10.代表者による評価・見直し

日時:2022年12月20日17:30～19:00　　出席者:社長・管理責任者・担当者

<table>
<tr><th colspan="2">管理責任者　2022年12月19日</th><th colspan="2">社長　2022年12月20日</th><th>管理責任者</th></tr>
<tr><th colspan="2">インプット情報</th><th rowspan="2">妥当・適切・有効性を
確実にするための評価</th><th>アウトプット情報</th><th>2022年12月21日</th></tr>
<tr><th>必須項目</th><th>成果・実績</th><th>変更の必要性に言及する</th><th>社長対策と
周知(社長と相談)</th></tr>
<tr><td>①目的目標、活動計画の達成状況</td><td>今期は2009年ベースから6.0%の排出削減目標であった。
CO2排出量の達成率は129.3%、原単位の達成率は222.7%であった。今期は全高項目の達成ができた。</td><td rowspan="5">『妥当性・適切性』

EA21の取組内容は問題ないと思う。
今期も全体的にCO2排出量が抑制できていたと思われる。引き続きCO2削減に継続して取り組んでほしい。</td><td>■方針
□有　☑無

今のところ特に変更の必要なし。</td><td>引き続き全社員でCO2削減に取り組み、環境保全に微力ながら努めていく。</td></tr>
<tr><td>②環境法規制等の遵守状況</td><td>導入前から法の遵守はできていたので問題なし。これからも続けていく。</td></tr>
<tr><td>③経営システムの実施状況</td><td>PDCAサイクルは回っていると思う。年2回の教育により再周知ができ、達成手段はできていた。</td><td rowspan="3">■環境目標、
活動計画
□有　☑ 無

今のところ特に変更の必要なし
環境目標・活動計画をしっかり遵守し、来年度も目標を達成できるように行動してほしい。</td><td rowspan="3">月ベースでは達成できていない月があったので、燃料では使用量が増える月もあるが、しっかりと達成手段を取り組み、月でも達成できるように努める。</td></tr>
<tr><td>④問題点の是正予防状況</td><td>特になし。</td><td rowspan="3">『有効性』

引き続き従業員全員で削減目標を達成することにより、利益にもつながる。また、達成手段を達成する事により無事故にもつながるので続けてほしい。</td></tr>
<tr><td>⑤利害関係者の要望事項</td><td>問題なし。</td><td rowspan="2">■特命事項
□有　☑無

今のところ特に変更の必要なし。</td><td rowspan="2">今年度も事故やケガをしないように努め、無災害を継続していきたい。</td></tr>
<tr><td>⑥周辺の状況変化(特に法律)</td><td>特になし。</td></tr>
<tr><td>⑦教育人材育成の状況と結果</td><td>現場周辺のゴミの清掃や大谷川の清掃で環境美化の意識が根付いたと思う。</td><td>『気付いた点』

特になし。</td><td>■実施体制

人員が変わらないのでそのまま続ける。</td><td>部門長を中心に継続して行っていく。</td></tr>
</table>